

夢に向かって

～ 大人になって思うこと～

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

今年も、小須戸町では百三十名の皆さんが成人を迎えられました。いつもの世も、その世相を反映した厳しさがありますが、それが社会良識を見極めながら大人となり、自分の世界を広げていきます。今回の成人式には八十七名が出席し、なごやかなうちにも厳粛に式典を終りました。今回の記事はそのうち四名の方から成人を迎えられた感想を寄せて頂きました。



うでこき2

丸山 径さん

「自分を磨いて…」

自分にとって「大人になる」と言うことは身近な問題ではなく、まだまだ先のコトと考えていました。しかし、気が付けば二十歳になり、成人式を迎え、社会的に「大人」の仲間入りとなりました。「大人」と言えば社会的に責任を持つたり、法律的にも様々な権利を持ち責任ある行動が求められるが、自分自身、思い描いていた「大人」と現在の自分には大きな差があります。なので、少しでもこの差が埋まるように自分を磨いていきたいと思っています。



小 向

井上 誠己さん

「働く厳しさを学びたい」

私たちは成人を迎えて、選挙権などを得て社会の一員として政治に参加できるようになりました。そして、私たちは社会を担う一員として政治に関心をもち、自分の持つ一票を大切に投じるべきだと思います。今、私は大学に通いながらアルバイトをしています。そこで働く厳しさを感じています。二年後には就職することになると思いますが、それ



ちょこっと一言 (186)

「愛し続けたい この街を」
お盆に京都からお客様が来られました。数日間滞在していましたが、小須戸町や、越後平野を一望できる弥彦山へ、又、新津にある県立植物園等に案内させて頂きました。「すごい、緑が美しい。広い」の連発です。京都のど真ん中に住んでいるので、空間はビ



うでこき2

齋藤 正之さん

「福祉現場を目指して」

二十歳になり、早四ヶ月が過ぎましたが、未成年と成人の目に見えた変化は何もありませんでした。しかし、成人としての幾つかの権利は二十歳を過ぎた者に公平に与えられております。成人として未熟であるにも関わらず権利を与えて頂いた方には、それなりの責任と義務が増えます。私は、将来福祉の現場で働くことを目標としております。より充実した福祉社会を築く事も、社会の一員としての義務であると思っております。今後は、多くの人に支えられてきたという感謝の意を忘れず、自分の役割を果たしていきたいと思っております。



天ヶ沢 1

齋藤 裕子さん

「大人としての自由へ」

二十歳になって、何ヶ月か経つけど、歳が二十歳になっただけで、内面はまだ二十歳になつたという自覚がほとんどありません。しかし、世間からみれば、社会の一員として、選挙権や飲酒・喫煙の自由を与えられ、十代の時のように親などの同意がなくてもできる代わりに自分で決められる自由を与えられます。でも、自由奔放に決める訳じゃなく、成人としての意志をしっかりと持ち、日々過ごしたいと思っています。最後になりましたが、成人になつたみんなへ。これから先、色んなカベにぶつかると思うけど、自分の決めた事に自信持って行こうぜ!!



新保 3

川瀬 晴奈さん

ルの谷間から見える所だけ。したがって視野が狭いと言う。そしてこの街は、どの家でも樹木や緑が多いと言う。便利さだけを追求していくと、つい見失いがちな自然。自然との共存共栄が叫ばれて久しいが、それこそが人類に豊かさを与えてくれる事を外から来た人に教えてもらった夏でした。いつまでも愛し続けたいこの街を。

分館催し物ご案内

◎小須戸分館
ふれあいフェスティバル
日時 十月五日(日)
午前九時半開会
会場 信濃川親水緑地公園
※雨天時は、第二町民体育館(旧小須戸小学校体育館)

◎矢代田分館研修旅行
日時 九月二十二日(月)
行先 村上市「屏風展の見学」他

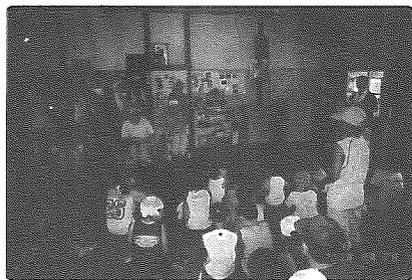
◎矢代田分館
山ノ手大運動会
日時 九月二十八日(日)
午前九時開会
会場 矢代田小学校グラウンド
※雨天時は矢代田小学校体育館

◎第23回県スポーツ少年団
総合体育大会(サッカー)
(八月三十日土)・高校高校クワランド他
中学生の部 プロックトーナメント戦
優勝 小須戸サッカー少年団
小学生の部 プロックトーナメント戦
第四位 小須戸サッカー少年団

◎第十三回町民ゴルフ大会
多数の参加を!!
日時 十月四日(土)
会場 湯田上カントリークラブ
参加資格 当町在住者・勤務者・学区内出身者
参加費 四千元
申込先 公民館及び地区幹事
締切 九月二十日(土)
※詳しくは、既に配布の新聞折り込みチラシをご覧ください。

地域再発見

「地域のみなさん、ありがとう」
「ほろえみ作業所で感謝する集い」
本年も八月七日に、地域の方々へ感謝する集いをひらきました。作業所ができて十年。通所者は五人から十八人に増え、ボランティアさんも仕事も切れぬく続いています。そして何より、小向の地域の方々は老人クラブから子供会まで、暖かい協力と理解を示して下さいます。年一回のこの会だけでは足りない程です。ありがとうございます。



「いつも、どうも…」

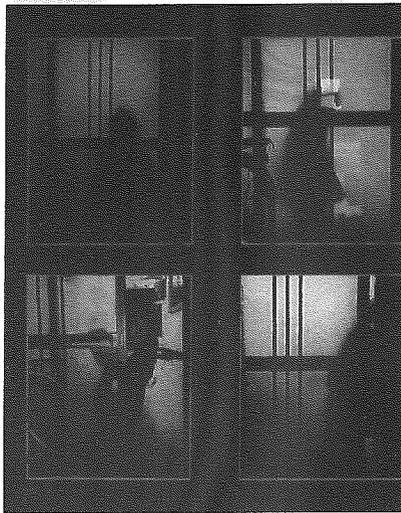
第58回 県展入選作品の紹介(3)

「しかられて」(写真)



本間 栄子さん

“しかられて”外に出て行きました。見守りながら待つ間のスナップです。



「応 変」(書道)



本多 和宏さん

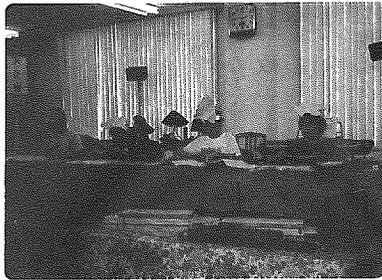
「日々新面目あるべし」(會津八一、学規)という言葉をもとに、これからも精進して行きたいと思っております。

「子ども大正琴」大張り切り

「サロシコンサート出演」

学校週五日制をきっかけとしてから日々、練習を重ねて今では教材の調達が間に合わないほどの上達ぶりです。今までも数々の演奏会に参加しましたが、今回、毎月一回新潟市内のビルの一室で、開かれていたサロシコンサートにチャレンジしてみようか聞いてみました。

「なだらね、出でみるかね」「うん！出る出る！」
なんとも、たのしい返事で大張り切り。それからも猛特訓、曲目は、「おさかな天国」と「わらべ歌メドレー」でした。



「かわいい～！がんばって！」

ンパーには、夏休みのよい思い出になったことでしょう。(大正琴指導者)

ふれあい電話相談
教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。
●十月の相談日
二十日(金)・十日(金)・十七日(金)・二十四日(金)
●受付時間
午後一時～五時
●電話番号
三八一三三〇〇
◎お名前、言わなくていいです。◎秘密は、固く守ります。

催し物案内

◎おもしろ博士講座

米寿の男性「民謡披露」
新潟水俣病の被害者で、安田町出身の渡辺さん(元屋根ふき職人)は、小さい頃から歌好き(「独学」)で、集まり等があれば十八番の民謡を披露。衰えを知らないその歌声に、全国各地にファンがいます。当日は渡辺さんの民謡と旗野さんのお話で楽しいひとときを過ごしてみませんか。ご来場をお待ちしております。
日時 十月十日(金)
午後七時半～八時半
会場 中央公民館「二階和室」
演題 「うたは百薬の長」
米寿でCDデビュー！
渡辺参治さんの生き方に学ぶ。出演・渡辺参治さん(安田大学民謡古典芸能学科名誉教授)
・旗野秀人さん(付き人)
※「参加申込み」の必要はありません。(入場無料)
主催・問合せ 中央公民館

◎町民健康ウォーキング
日時 十月十二日(日)
午前九時十五分・大沢公園に集合(雨天中止)
※参加費無料
申込先 九月二十六日(金)迄に中央公民館
主催 小須戸町教育委員会
体育指導委員協議会
◎おはなしのせかいへ
(絵本の読み聞かせ)
日時 十月十八日(土)
午前十時半～十一時
会場 中央公民館「二階和室」
対象 幼児から大人まで
読み手 おはなしほけっと
主催 中央公民館

◎和楽器鑑賞会のお知らせ
琴をはじめとする和楽器の鑑賞会が、次のとおり開催されます。一般町民の方も、どうぞ、お気軽にお越しください。
日時 十月九日(木)午後七時
会場 小須戸中学校体育館
演奏者 佐藤サダ子先生(新潟市在住、小須戸町出身) 他
主催 小須戸中学校PTA
(※入場無料)

◎紅葉まつりの八海山にのぼろう
初心者コースと中級者コースの2班に分けて行動いたしますので、体力に合ったコースを選んで参加できます。
日時 十月十九日(日)
集合 中央公民館・午前六時出発
行程 ロープウェイで4合目まで登る。
参加費 三五百円(バス代、ロープウェイ代、保険料他)
締切り 九月三十日(先着順)
募集数 五十名
申込み 木村まで ☎3812045
主催 町山岳キャンプ協会
◎白根地区児童・生徒科学発表会
夏休みを利用して、身近なところや不思議に思っていたことなどを観察、実験した結果を発表します。ぜひ、子どもたちの発表をご覧ください。
日時 十月六日(月)午後一時半
会場 白根学習館

「ピアノの旋律に酔う！」
～夏の夜のピアノコンサート～

今年も公民館3階ホールで「クラシックコンサート」が開催されました。演奏は、新潟県音楽コンクールで県知事賞を受賞された梅津幹子さん(新町3)にお願いしました。当日は、私たちの耳慣れたショパンの「別れの曲」を初めドビュッシーの「水の反映」シューマンの「謝肉祭」等が演奏され、集まられた160余名の皆さんの耳を魅了しました。特にアンコールで演奏された「幻想即興曲」の流れるような美しい旋律には酔いしました。



話し手(おはなしほけっと)

文芸欄

十葉の花めぐらして古土蔵 五十嵐香月
世の推移ブーゲンビリア紅く燃ゆ 佐久間久子
凌霄花の気炎は塀に納まらず 丸山虚秋
公園の一部始終を凌霄花 関根紀男
凌霄花見越の松にのぼりけり 中野太浪
生涯を故郷に住む敬老日 中野雅世
沐浴の嬰のふんばり梅雨明け 須藤恵美子
虹の絵を添えて元気をしらせけり 藤井ハルエ
配膳の音より宿方明け易し 渡邊信子
懐を読まれて直す計画書 高橋ただし
柳(計算) 計算し時いた種なら突が怖い 保科志枝
川(題) 一人っ子計算外の婿養子 藤井春江
割勘へ計算高い横車 長井武雄

部屋の電気を消し、ろうそくに火を灯すことで、おはなしが始まります。読み手は子ども一人一人をみつめながら、問いかけるようにおはなしを進めます。今回「こわいおはなし大会」で読み手が「サリィ!!」と叫ぶシーンがあったのですが、その瞬間みんなの体が「ビクッ」とし、顔を見合せて笑っていたのは特に印象的でした。まだお聞きになった事がない方など、ぜひ一度おい出ください。

「暑さを忘れて、恐さの一体感」
ことしの夏は雨が多く、気温も上がらず低温注意報が出たほどでした。年長児にとってはあこがれの中学校プールでの水遊びが夏休みに入って四回ありました。園のプールは小さい上に浅く大勢が一斉に入るため、とても泳ぐ練習などできませんが、ようやく足が届くほどの深さと広い中学校プールで、思う存分楽しむことができました。年長児の中には、息継ぎがしつかりとでき、数メートルも泳ぐことができる子がクラスの数近くの十数名もおり感心しました。反面、まだ水に対する恐怖心があるのか、水面に顔を付けるのがやっと

泳げるようになったよ 小須戸幼稚園

3月	折り紙サークル
2月	花と緑と切り絵 パンフレット教室
1月	俳句同好会 川柳会 俳句教室
12月	写真クラブ
9月	越後会(書道) 創風会
展示月	団体名

※「鳥風愛好会」は随時。

「うまい、うまい」小さいカッパさん達

